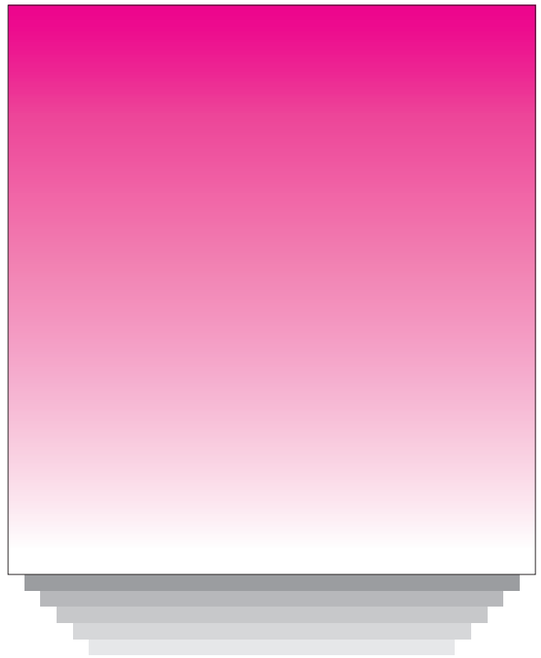
ISSN 1880−9006

近畿大学

教育論叢

The Research Journal of the Department of Teacher Education
Kindai University

第28巻第２号



２０１７

■近畿大学教職教育部■

近畿大学教育論叢　第二十八巻第二号　平成二十九年（二〇一七）三月　近畿大学教職教育部

近畿大学

目　　次

1．論文

小学校プログラムの学生たちとの学びから見えてきたもの
「覚えておこう」から「学んでおもしろい」へ、
そしてリビングテーブルに置かれた「空気砲」と「ストロー弓矢」
What We Found Through Teaching the Students in the Course for Elementary Teachers.
—Instead of Letting Students Say to Themselves “Let Us Memorize This”
,Why Don't We Let Them Say “It's Fun to Learn Science”.
An Air Cannon and a Straw Bow and Arrow Left on a Living Room Table.—
……玉井　裕和（TAMAI Hirokazu）…… 1

ICT を用いた「円周角の定理」の教材化についての研究
—GeoGebra の作図機能と表計算機能の連携した教材開発について—
Study of Preparation the Inscribed Angle Theorem Materials Using ICT
……西仲　則博（NISHINAKA Norihiro）……37

教育思想研究の成果を生かした「教職についての省察」の授業デザイン
The Design of the Lesson “Reflection about the Teaching Profession” that Utilize the Results of the Educational Thoughts Studies
……光田　尚美（MITSUDA Naomi）……59

大学生の日本的な食習慣についての調査
—味噌汁摂食の状況から、グローバル化の中の日本人のアイデンティティを考えるー
The Survey of Students How Often They Eat Soy-Bean Soup at Their Meals
—Analysis on the Japanese Cultural Identity by Finding Out Their Taste for Soy-Bean Soup—
……小口　功（OGUCHI Isao）……75

学校史資料論の構築に向けて――活用と分類・学校統廃合・アーカイヴズ――
An Essay about School Historical Materials : Use and Classification, the Integration and Abolition of Schools, Archives
……和崎光太郎、　小山　元孝、　冨岡　勝
（WASAKI Kotaro,　KOYAMA Mototaka and TOMIOKA Masaru）……107

2．随想

「教職教育部」の成果と課題― 6 年間を振り返って―
……田中　保和（TANAKA Yasukazu）……137

教職教育部の思い出・・教職ナビとともに
……上林　正博（KANBAYASHI Masahiro）……145

編集発行内規

投稿要領

編集後記

『近畿大学教育論叢』編集発行内規

第１条　近畿大学教育論叢（以下「本誌」という）は、教職教育部が年１回以上発行する。

第２条　本誌の編集、発行の任にあたるため編集委員会を置く。

２．編集委員会は、委員長１名、委員若干名をもって構成する。

３．委員長、委員は、教職教育部教授会の承認を経て、教職教育部長が委嘱する。

第３条　投稿者（執筆者）は、原則として本学園教職員に限る。但し、編集委員会の議を経て教職教育部長により投稿を認められた者はこの限りではない。

２．投稿者は、別に定める「投稿要領」に従って、原稿を作成することとする。

第４条　原稿の校閲および採否の決定は、編集委員会が行う。

２．編集委員会は、投稿原稿の本誌掲載の採否を判断するため、審査を行う。

３．編集委員会は、投稿者に対し、上記審査に基づき、内容の修正等を求めることができる。

第５条　編集発行内規の改正に関しては、編集委員会の議を経て、教職教育部教授会で決定する。

第６条　当該原稿の著作権は、著作者および共著者に帰属する。

２．著作者および共著者は、当該原稿に係わる複製権、公衆送信権及び譲渡権の許諾を近畿大学に与えるものとする。

３．近畿大学が当該原稿の電子化・公開を委託する機関に対して、公衆送信権および複製権の許諾を与えるものとする。

附　則

この内規は、平成24年４月１日から施行する。

『近畿大学教育論叢』

（The Journal of the Department of Teacher Education, Kindai University）

投稿要領

1）原稿は未発表のものに限る。

2）原稿は原則として、パソコンを使用して作成、提出するものとする。

3）原稿締め切り時に、原稿をコピーしたものを3部、提出する。査読終了後、掲載が決定した論文については、コピーした原稿1部と、訂正したデータをメールで編集委員長に提出する。

4）原稿には表紙を付し、次の事項を記入する。

イ．表題（含む副題）　ロ．表題の英文（含む副題）　ハ．氏名、所属、職名

ニ．連絡先（教職教育部の専任以外の投稿者の場合、メールアドレスを含む）

ホ．別刷りの必要部数（規定部数を50部とし、それを超える分は、自己負担のこと）

ヘ．キーワード（5個以内）

5）用紙はA4判を用い、原則として横書きで原稿を作成する。40字×30行の書式で、原則30枚以内とする。

6）手書きの場合は、投稿者は編集委員会に申し出る。前項の次数を超えないことを条件に、書式、枚数などを協議する。

7）本文中で、活字の大きさ、書体を変える場合は、具体的に指示する。

8）表、図、写真などは、刷り上がりの大きさを指定し、具体的に指示する。

9）その他原稿の投稿に関しては、編集委員会で協議する。

10）投稿原稿の執筆は、次の通りに行う。

①英文の題名、副題、著者名については、すべての単語（前置詞および、冠詞 the などを除く）の最初を大文字にする。

②英文論文題名の副題は、コロン（：）で分ける。

③和文の句読点は、（、）（。）を用いる。文献では、コンマ、ピリオドを認める。

④図は、Figure 1, Figure 2 あるいは、図1、図2とし、表は、Table 1, Table 2 あるいは、表1、表2のように通し番号をつけ、論文内で統一された表記を使用する。

⑤必要に応じて大見出し、中見出し、小見出しを用い、その表記は次のようにする。

大見出し　１．２．……

中見出し　⑴、⑵……

小見出し　①、②……

⑥引用文献・資料は、アルファベット順に以下のように記述する。なお注において文献を示すことも可能とする。

著者名、発行年、題名、出版社、引用ページ数（頁、ページ、ｐなど）

⑦引用論文の表記については、次の順に記述する。

著者名、発行年、論文名、雑誌名、ページ

平成28年４月１日　　改訂

編　集　後　記

平成28年度の近畿大学教育論叢第２号を発行することになりました。本号は５本の論文と２本の随筆を掲載しております。近年大学の業務が多岐にわたり、じっくりと論文を執筆する時間がなくなっている状況のもとで、原稿を執筆下さった先生方には心より感謝申し上げます。

５本それぞれが力作で、論文１本あたりの執筆分量も多く、今号の教育論叢は近年まれにみる大部な出来となりました。もちろん論文の出来は分量ではなく、その質で決まります。学校に所蔵される貴重な史料の発見、保存と利用に関する基礎的な研究（冨岡　勝　他）、教職教育部での小学校教員養成の支援プログラムの補習の実践に関する研究、中学校の数学の教材に関する研究、更新講習の内容に関する研究と、どれも教職教育部の教育・研究の根幹に関する課題に、正面から取り組んでいる大作です。是非ご一読願います。

また今号では、３月をもって退官なさる、２名の先生にお言葉を随筆の形で投稿下さるようお願いしました。田中保和先生には教職教育部部長として、我々の組織の運営を一手に引き受けて戴きました。今回多くの研究論文の投稿があった背景として、年々多忙化する大学教員が教育及び研究に精力を集中できるよう、みごとな組織運営を一手に引き受けて戴いた田中先生の御尽力を忘れることはできません。また上林先生には、教員採用試験対策の先頭に立って戴き、学生を教壇に立たせるために粉骨砕身の働きをして戴きました。毎年100名を超す学生が本学卒業後、教壇に正規の教諭として立つことができるのは、上林先生の努力の賜物であります。

３月末で近畿大学を両先生が去られることは大変残念ですし、寂しい限りであります。その両先生の教職教育部での御足跡と御心情を、本号に執筆戴いた随筆を拝読していつまでも忘れないようにしたいと思う所存です。

近畿大学教育論叢編集委員会
小口功、光田尚美、吉川武憲、西仲則博

近畿大学教育論叢　　第28巻第２号
平成29年３月31日　印　刷
平成29年３月31日　刊　行
発行人　近畿大学教職教育部長
田中　保和
発行所　近畿大学教職教育部
577-8502
東大阪市小若江３丁目４番１号
印刷所　近畿大学管理部用度課(出版印刷)